

1. インターバンク市場

6/1~6/5のインターバンク市場は、税揚げ要因や普通交付税などの需給要因がある中、日銀当座預金残高は概ね210兆円程度で推移した。無担保コールO/Nは地銀・信託業態から大玉条件で0.075%ビッドが見られ、週末には0.078%まで取り上がる場面もあった。無担保コールO/N加重平均レートは0.07%台での推移が続いており、4月の月中平均レート0.06123%、5月の月中平均レート0.06945%と比較して、やや高い水準となっている。ターム物に関しては、大手行から2W物の調達が見られたほか、証券業態から3~4Mでの調達なども見られた。固定金利方式の共通担保オペは4日に3M・8,000億円でおファーされた。結果は応札額700億円(期落ち額990億円)と札割れであった。

6/8~6/12のインターバンク市場は、10日にTB6M発行超過要因があるものの、各種の払いも予定されているため、10,000億円を超える不足日とはならない見通し。国債買入オペの実施を加味すれば、週全体では大幅な余剰になると予想される。

2. オープン市場

6/1~6/5の短国市場は、週を通して品薄感が強く、閑散とした地合いの中、3Mでは▲0.005~0.002%の堅調な水準で出合いが見られた。4日には3M物の入札が実施され、平均落札利回0.0012%、按分落札利回0.0020%の結果となった。市場の一部では、今後の短国買入オペの動向が不透明な中、按分レートが上に流れるのではないかと観測もあったものの、やや強い水準での決着となった。5日には短国買入オペが5,000億円でおファーされた。先週のオペと同様に規模は大きくはなかったものの、マーケットの品薄感は強く、平均落札利回+0.001%、按分落札利回0.00%と底堅い結果となっていた。

6/1~6/5のCP市場は、月初ということもあり、4,500億円程度の償還に対して4,000億円程度の発行にとどまった。ノンバンク等からの大型発行案件が一部に見られたものの、発行総額、発行件数ともに膨らまず閑散としたマーケットとなった。発行レートについては、期償還物の残高が積み上がっていることを背景にディーラー・投資家の荷もたれ感が強く、全体的に上昇基調となっていた。a-1格銘柄の月内物は0.09~0.10%程度、月越え物で0.085~0.095%程度であった。4日にはCP等買入オペが前回オペより1,000億円増額の3,500億円でおファーされた。発行レートが上昇基調となっている中、月内償還物を中心とするディーラーの売却ニーズは強く、平均落札利回0.091%、按分落札利回0.085%と、平均落札利回こそ低下したものの、按分落札利回ではやや上昇する結果となった(前回は平均0.092%・按分0.083%)。

6/8~6/12の短国市場は、8日に6M物、11日に3M物の入札が予定されている。短国買入オペの規模が小さい状況が続くと予想される中、どの程度レートが上昇するかが注目される。CP市場では賞与・配当の支払いへの備えから発行の活発化が予想される。

3. 資金需給および国債等

銀行券は週間で300億円程度の還収見通し。財政等要因は、12日に源泉税揚げや社会保障費の払い等があり、9,200億円程度の揚げ超見通し。以上により、今週の資金需給(日銀調節を除く)は週間で6,000億円程度の資金不足を予想する。国債・借入金(日銀償還は除く)の動きは次の通り。<8日>TB3M;償還56,900億円・発行54,000億円 <10日>TB6M;償還21,700億円・発行35,000億円/物価連動10Y;償還200億円<11日>交付税特会借入;期日10,500億円・新規10,500億円/流動性供給;発行3,000億円<12日>預保借入期日1,500億円

2015年	銀行券要因	財政等要因	資金過不足	オペ	期日	新規実行	オペ合計	実質過不足
6/8(月)	1,300	△ 1,200	100	全店共通(固) CP買入 社債買入 ETF買入	△ 1,000 △ 200 △ 100	700	△ 400	△ 300
6/9(火)	1,000	1,000	2,000	CP買入 国債買入 短国買入		200 3,500 11,600 5,000	20,100	22,100
6/10(水)	0	△ 8,000	△ 8,000				0	△ 8,000
6/11(木)	△ 1,000	△ 3,000	△ 4,000				0	△ 4,000
6/12(金)	△ 1,000	2,000	1,000				0	1,000
週間合計	300	△ 9,200	△ 8,900		△ 1,300	21,000	19,700	10,800

(注) 上表の6/8は日銀予想、6/9以降は当社予想。

	国内主要経済指標	国債等入札予定	海外主要経済指標
6/8(月)	1-3月期のGDP 2次速報(内閣府 8:50) 4月の国際収支(財務省所管・日銀作成 8:50) 4月の特定サービス産業動態統計速報(経済産業省 13:30) 5月の景気ウォッチャー調査(内閣府 14:00)	TB6M 35,000億円 6/10発行	5月のFRB 労働市場情勢指数
6/9(火)	5月のマネーストック(日銀 8:50) 5月の消費動向調査(内閣府 14:00)	流動性供給 3,000億円 6/11発行	4月の米卸売売上高
6/10(水)	山梨県金融経済懇談会にて佐藤審議委員講演 4月の機械受注統計(内閣府 8:50) 5月の企業物価指数(日銀 8:50)		5月の米財政収支
6/11(木)	4-6月期の法人企業景気予測調査季报 (内閣府・財務省共管 8:50) 4月のマネタリーサーベイ(日銀 8:50)	TB3M 54,000億円 6/15発行	20Y 12,000億円 6/22発行
6/12(金)	4月の第3次産業活動指数(経済産業省 8:50) 4月の石油等消費動態統計(経済産業省 13:30)	エネルギー 対策借入 5,000億円 6/22借入	5月の米生産者物価指数 6月のミシガン大消費者信頼感指数速報

本資料の内容は、十分信頼し得る情報・データ等に基づいて作成しておりますが、内容の正確性については弊社がこれを保証するものではありません。掲載内容のタイトル・日時・地域等につきましては、お取引先様各位にて別途ご確認戴きますよう、何卒宜しくお願い申し上げます。

金融商品のお取引には価格変動等によるリスクがあります。金融商品のお取引には手数料等をご負担頂くものがあります。金融商品取引法に基づきお渡しする書面や目録見書をよくお読みください。